

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県鹿島市大字高津原 62 番地 1  
団 体 名 特定非営利活動法人  
さが西部市民活動サポートセンター・フロンティア  
代表者職・氏名 理事長 中溝 安志  
電話番号 0954-63-4571

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和3年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

(様式第7号 別紙1)

令和3年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 特定非営利活動法人

さが西部市民活動サポートセンター・  
フロンティア

1 事業実施期間 令和3年 4月 1日から 令和4年 3月 31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようなにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

1. 認知症予防事業

最後まで受講された方は15名おられたが、すべての方が生き生きとした表情で受講されており、認知発症の兆しは全くなかった。

2. 介護予防事業

昨年度からの参加者8名で実施した。

令和4年3月24日に受講者に医療費について尋ねたところ、医療費はほとんど変わらないとの回答を得た。

何もしなければ筋力が衰え、医療費も増えると思われるので「変わらなかった」ということは予防効果があったと判断できる。また、参加の8名は全員片足立ち60秒クリアされ、ガンバルーン体操の効果があったと思う。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の 支出金額 (単位：千円)
① 認知症予防事業	Excelの基礎を学習したのち、各種折り込みチラシ等を手本として、テキストボックス等を活用し忠実にレイアウトしてチラシを作成することによって、二次元空間認識能力の維持、向上を目指した。	(A) 通年 月火水 (B) あすとプラザ (C) 2人	(D) 一般市民 (E) 15名	692
② 介護予防事業	「ガンバルーン」を使用した介護予防運動及びゲームを飽きないように楽しく指導し、知らないうちに転倒防止等に作用する筋力アップを目指した。	(A) 通年 木曜 (B) あすとプラザ (C) 1人	(D) 一般市民 (E) 8名	34

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の 支出金額 (単位：千円)

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	243,500	第1回交付：
			第2回交付：
			第3回交付：54,000
			第4回交付：189,500
	一般会計より繰入	32,334	
	認知症予防事業参加費	388,800	
	介護予防事業参加費	44,500	
	収入 計	709,134	
支 出	○事業名 認知症予防事業・ 介護予防事業		
	謝金	117,000	
	旅費	131,645	
	テキスト代	1,653	
	消耗品費	89,284	
	会場使用料	302,640	
	返礼品等の調達に係る費用	57,400	
	返礼品等の送付に係る費用	9,512	
	支出 計	709,134	

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。